

平成27年度高齢者虐待の防止、高齢者の養護者に対する支援等に関する法律
に基づく対応状況等に関する調査結果概要

<調査対象期間 平成27年4月1日～平成28年3月31日>

() 内数字は26年度数値)

1 高齢者虐待に関する相談・通報件数と虐待認定件数

区分	虐待認定件数	通報等件数
養介護施設従事者等による虐待	9 (2)	33 (9)
養護者による虐待	521 (490)	817 (777)

注) 通報等件数は、本調査対象年度内に通報等を受理した事例について集計

注) 虐待認定件数は、本調査対象年度内に通報等を受理した事例、及び対象年度以前に通報等を受理し事実確認調査が対象年度となった事例のうち、虐待を受けた又は受けたと思われたと判断した事例

2 養介護施設従事者等による虐待の状況

(1) 虐待のあった施設・事業所

区分	件数
特別養護老人ホーム	6
介護老人保健施設	1
認知症対応型共同生活介護 (介護付き)有料老人ホーム	1

(2) 虐待を行った養介護施設等の従業者
の職名又は職種

区分	人数
介護職員	7

(3) 虐待種別・類型

区分	件数	割合
身体的虐待	11	68.8%
性的虐待	0	0.0%
心理的虐待	4	25.0%
放棄・放任(ネグレクト)	1	6.3%
経済的虐待	0	0.0%
合計	16	

注) 虐待認定事例のうち、1件の事例で複数の虐待種別に該当する場合は、それぞれをカウント

(4) 被虐待者の性別

区分	件数	割合
男性	1	6.7%
女性	14	93.3%
不明	0	0.0%
合計	15	

(5) 被虐待者の年齢階級

区分	件数	割合
65歳未満障害者	0	0.0%
65～69歳	0	0.0%
70～74歳	0	0.0%
75～79歳	1	6.7%
80～84歳	1	6.7%
85～89歳	6	40.0%
90～94歳	6	40.0%
95～99歳	1	6.7%
100歳以上	0	0.0%
その他・不明	0	0.0%
合計	15	

(6) 被虐待者の要介護度

区分	件数	割合
自立	0	0.0%
要支援1	0	0.0%
要支援2	0	0.0%
要介護1	0	0.0%
要介護2	0	0.0%
要介護3	4	26.7%
要介護4	10	66.7%
要介護5	1	6.7%
その他	0	0.0%
不明	0	0.0%
合計	15	

(7) 老人福祉法、介護保険法上の権限行使以外の対応

区分	市町村が実施	都道府県が実施
施設等に対する指導	7	3
改善計画提出依頼	8	3
従事者等への注意・指導	4	1

注) 重複している場合はそれぞれカウント

(8) 介護保険法の規定に基づく権限の行使

区分	件数
報告徴収、質問、立入検査	5
改善勧告	0
改善勧告に従わない場合の公表	0
改善命令	0
指定の効力の全部又は一部停止	0
指定取消	0
現在対応中	0
その他	0

注) 重複している場合はそれぞれカウント

(9) 老人福祉法の規定に基づく権限の行使

区分	件数
報告徴収、質問、立入検査	0
改善勧告	0
事業の制限、停止、廃止	0
認可取消	0
現在対応中	0
その他	0

注) 重複している場合はそれぞれカウント

3 養護者による虐待の状況

(1) 相談・通報者

区分	人数		割合	
介護支援専門員・介護保険事業所職員	336	(312)	36.7%	(37.4%)
介護支援専門員(ケアマネージャー)	【305】	【257】	【33.8%】	【(30.2%)】
介護保険事業所職員	【31】	【55】	【3.4%】	【(6.5%)】
医療機関従事者	34	(42)	3.8%	(4.9%)
近隣住民・知人	27	(34)	3.0%	(4.0%)
民生委員	26	(29)	2.9%	(3.4%)
被虐待者本人	64	(56)	7.1%	(6.6%)
家族・親族	74	(72)	8.2%	(8.5%)
虐待者自身	6	(13)	0.7%	(1.5%)
当該市区町村行政職員	64	(57)	7.1%	(6.7%)
警察	207	(172)	22.9%	(20.2%)
その他	64	(65)	7.1%	(7.6%)
不明(匿名を含む)	1	(0)	0.1%	(0.0%)
合計	【903】	(852)		

注) 本調査対象年度内に通報等を受理した事例について集計

注) 重複している場合はそれぞれカウント

(2) 虐待種別・類型

区分	件数	割合
身体的虐待	346 (326)	66.4% (66.5%)
介護・世話の放棄・放任	119 (123)	22.8% (25.1%)
心理的虐待	227 (216)	43.6% (44.1%)
性的虐待	0 (1)	0.0% (0.2%)
経済的虐待	114 (115)	21.9% (23.5%)
合計	806 (781)	

注) 虐待認定事例のうち、1件の事例で複数の虐待種別に該当する場合は、それぞれをカウント

注) 被虐待者が複数いる場合で、同一の家庭で一体的に発生している場合は、それぞれカウント。

注) 構成割合は、虐待認定件数に対するもの。

(3) 虐待の深刻度

区分	件数	割合
5-生命・身体・生活に関する重大な危険	66 (70)	12.4% (14.0%)
4	53 (48)	10.0% (9.6%)
3-生命・身体・生活に著しい危険	170 (159)	32.0% (31.7%)
2	70 (75)	13.2% (15.0%)
1-生命・身体・生活への影響や本人意思の無視等	173 (149)	32.5% (29.7%)
合計	532 (501)	

注) 本調査対象年度内に虐待と判断された事例における被虐待者の実人数について集計

注) 1から5は、危険性の深刻度を示したもので、5が最も危険なもの。

(4) 被虐待者の性別

区分	件数	割合
男性	123 (117)	23.1% (23.4%)
女性	409 (384)	76.9% (76.6%)
不明	0 (0)	0.0% (0.0%)
合計	532 (501)	

注) 本調査対象年度内に虐待と判断された事例における被虐待者の実人数について集計

(5) 被虐待者の年齢階級

区分	件数	割合
65～69歳	57 (57)	10.7% (11.4%)
70～74歳	73 (89)	13.7% (17.8%)
75～79歳	139 (105)	26.1% (21.0%)
80～84歳	138 (118)	25.9% (23.6%)
85～89歳	83 (78)	15.6% (15.6%)
90歳以上	39 (50)	7.3% (10.0%)
不明	3 (4)	0.6% (0.8%)
合計	532 (501)	

注) 本調査対象年度内に虐待と判断された事例における被虐待者の実人数について集計

(6) 被虐待者の介護保険の申請

区分	件数	割合
未申請	147 (129)	27.6% (25.7%)
申請中	18 (17)	3.4% (3.4%)
認定済み	360 (348)	67.7% (69.5%)
認定非該当(自立)	6 (7)	1.1% (1.4%)
不明	1 (0)	0.2% (0.0%)
合計	532 (501)	

注) 本調査対象年度内に虐待と判断された事例における被虐待者の実人数について集計

(7) 介護保険認定済者の要介護度

区分	件数	割合
要支援1	30 (29)	8.3% (8.3%)
要支援2	31 (22)	8.6% (6.3%)
要介護1	76 (63)	21.1% (18.1%)
要介護2	93 (80)	25.8% (23.0%)
要介護3	73 (64)	20.3% (18.4%)
要介護4	36 (47)	10.0% (13.5%)
要介護5	19 (41)	5.3% (11.8%)
不明	2 (2)	0.6% (0.6%)
合計	360 (348)	

(8) 介護保険認定済者の認知症日常生活自立度

区分	件数		割合	
自立又は認知症なし	37	(48)	10.3%	(13.8%)
自立度Ⅰ	77	(58)	21.4%	(16.7%)
自立度Ⅱ	100	(102)	27.8%	(29.3%)
自立度Ⅲ	73	(85)	20.3%	(24.4%)
自立度Ⅳ	19	(23)	5.3%	(6.6%)
自立度Ⅴ	4	(5)	1.1%	(1.4%)
認知症はあるが自立度不明	31	(20)	8.6%	(5.7%)
自立度Ⅱ以上【再掲】	【227】	【235】	【63.1%】	【67.5%】
認知症の有無が不明	19	(7)	5.3%	(2.0%)
合計	360	(348)		

(9) 介護保険認定済者の障害高齢者の日常生活自立度（寝たきり度）

区分	件数		割合	
自立	19	(25)	(5.3%)	(7.2%)
J	101	(76)	(28.1%)	(21.8%)
A	100	(107)	(27.8%)	(30.7%)
B	63	(57)	(17.5%)	(16.4%)
C	19	(37)	(5.3%)	(10.6%)
不明	58	(46)	(16.1%)	(13.2%)
合計	360	348		

(10) 介護保険サービスの利用（虐待判断時点）

区分	件数		割合	
介護サービスを受けている	282	(273)	(78.3%)	(78.4%)
過去受けていたが判断時点では受けていない	11	(19)	(3.1%)	(5.5%)
過去も含め受けていない	59	(55)	(16.4%)	(15.8%)
不明	8	(1)	(2.2%)	(0.3%)
合計	360	(348)		

(11) 同居・別居の状況

区分	件数		割合	
虐待者と同居	452	(421)	85.0%	(84.0%)
【うち虐待者とのみ同居】	【265】	【260】	【49.8%】	【51.9%】
【うち虐待者及び他家族と同居】	【187】	【161】	【35.2%】	【32.1%】
虐待者と別居	73	(74)	13.7%	(14.8%)
その他	6	(5)	1.1%	(1.0%)
不明	1	(1)	0.2%	(0.2%)
合計	532	501		

注) 本調査対象年度内に虐待と判断された事例における被虐待者の実人数について集計

(12) 家族形態

区分	件数		割合	
単独世帯	50	(41)	9.4%	(8.2%)
夫婦のみ世帯	119	(117)	22.4%	(23.4%)
未婚の子と同居	247	(205)	46.4%	(40.9%)
【うち配偶者がいたことがない子と同居】	【191】	【157】	【35.9%】	【31.3%】
【うち配偶者がいたが離別・死別等した子と同居】	【56】	【48】	【10.5%】	【9.6%】
子夫婦と同居	48	(52)	9.0%	(10.4%)
その他	64	(84)	12.0%	(16.8%)
【うちその他の親族と同居】	【18】	【39】	【3.4%】	【7.8%】
【うち非親族と同居】	【8】	【12】	【1.5%】	【2.4%】
【うちその他（既婚・未婚の子が同居、その他）】	【38】	【33】	【7.1%】	【6.6%】
不明	4	(2)	0.8%	(0.4%)
合計	532	501		

注) 本調査対象年度内に虐待と判断された事例における被虐待者の実人数について集計

(13) 被虐待者から見た虐待者の続柄

区分	件数		割合	
夫	118	(107)	20.7%	(19.7%)
妻	34	(41)	6.0%	(7.5%)
息子	226	(190)	39.7%	(34.9%)
娘	114	(107)	20.0%	(19.7%)
息子の配偶者（嫁）	14	(20)	2.5%	(3.7%)
娘の配偶者（婿）	6	(6)	1.1%	(1.1%)
兄弟姉妹	13	(7)	2.3%	(1.3%)
孫	18	(20)	3.2%	(3.7%)
その他	25	(42)	4.4%	(7.7%)
不明	1	(4)	0.2%	(0.7%)
合計	569	(544)		

注) 本調査対象年度内に虐待と判断された事例における虐待者の延べ人数について集計（被虐待者ごとにカウント）

注) 虐待者が複数いる場合は、それぞれカウント。

(14) 虐待者の年齢

区分	件数		割合	
20歳未満	2	(3)	0.4%	(0.6%)
20～29歳	11	(13)	1.9%	(2.4%)
30～39歳	38	(33)	6.7%	(6.1%)
40～49歳	111	(108)	19.5%	(19.9%)
50～59歳	120	(109)	21.1%	(20.0%)
60～64歳	39	(43)	6.9%	(7.9%)
65～69歳	40	(42)	7.0%	(7.7%)
70～74歳	30	(38)	5.3%	(7.0%)
75～79歳	40	(39)	7.0%	(7.2%)
80～84歳	47	(44)	8.3%	(8.1%)
85～89歳	26	(16)	4.6%	(2.9%)
90歳以上	5	(3)	0.9%	(0.6%)
不明	60	(53)	10.5%	(9.7%)
合計	569	(544)		

注) 本調査対象年度内に虐待と判断された事例における虐待者の延べ人数について集計（被虐待者ごとにカウント）

注) 虐待者が複数いる場合は、それぞれカウント。

(15) 市町村の対応状況

・分離の有無

区分	件数		割合	
被虐待者の保護として虐待者からの分離を行った事例	184	(193)	23.4%	(26.0%)
被虐待者と虐待者を分離していない事例	427	(378)	54.3%	(50.9%)
現在対応について検討・調整中の事例	41	(44)	5.2%	(5.9%)
虐待判断時点で既に分離状態の事例（別居、入院、入所等）	67	(54)	8.5%	(7.3%)
その他	67	(74)	8.5%	(10.0%)
合計	786	(743)		

注) 本調査の対象となったすべての虐待判断事例における被虐待者について集計

・分離を行った事例の対応の内訳

区分	件数		割合	
契約による介護保険サービスの利用	52	(45)	28.3%	(23.3%)
【うち面会制限を行った事例】	【5】	【10】		
老人福祉法に基づくやむを得ない事由等による措置	44	(51)	23.9%	(26.4%)
【うち面会制限を行った事例】	【27】	【35】		
緊急一時保護	16	(18)	8.7%	(9.3%)
【うち面会制限を行った事例】	【9】	【12】		
医療機関への一時入院	21	(42)	11.4%	(21.8%)
【うち面会制限を行った事例】	【3】	【4】		
上記以外の住まい、施設等の利用	30	(25)	16.3%	(13.0%)
【うち面会制限を行った事例】	【10】	【9】		
虐待者を高齢者から分離（転居等）	15	(12)	8.2%	(6.2%)
【うち面会制限を行った事例】	【6】	【4】		
その他	6	(0)	3.3%	(0.0%)
【うち面会制限を行った事例】	【3】	【0】		
合計	184	193		

・分離をしていない事例の対応の内訳

区分	件数		割合	
養護者に対する助言・指導	194	(146)	45.4%	(38.6%)
養護者が介護負担軽減等のための事業に参加	7	(4)	1.6%	(1.1%)
被虐待者が新たに介護保険サービスを利用	24	(28)	5.6%	(7.4%)
既に介護保険サービスを受けているが、ケアプランを見直し	93	(80)	21.8%	(21.2%)
被虐待者が介護保険サービス以外のサービスを利用	17	(15)	4.0%	(4.0%)
その他	86	(59)	20.1%	(15.6%)
見守り	138	(154)	32.3%	(40.7%)
合計	559	(486)		

注) 見守りを除き重複回答あり

注) 割合は、「分離していない事例」の件数に対するもの